



祝 全員当選!

— 第19回統一地方選挙 — 鳥取県知事・鳥取県議会議員選挙

■第19回統一地方選挙投開票結果■

鳥取県知事選挙

※「備考」欄の丸数字は当選回数(2019.4.7選挙後)(敬称略)

○選挙日程 告示日: 3月21日(木)

投票日: 4月7日(日)

○選挙結果(投票率 53.09%)

候補者名	得票	備考
平井 伸治(推薦)	225,883	当選④
福住 英行	14,056	落選
井上 洋	4,905	落選



平井知事(左)と本川会長(2019年4月9日/会長室)

4月7日(日)投開票で実施された「第19回統一地方選挙」において、組織の総力をあげて支援した連合鳥取推薦候補者全員が当選を果たすことができました。

序盤から厳しい情勢が伝わる中、構成産別、単組、さらには支部、分会の役員、組合員、OBのみなさん、地域協議会役員のみなさんには、最後の最後まで粘り強く取り組みを進めていただき、政策実現力の強化につながりました。

鳥取県議会選挙

○選挙日程 告示日: 3月29日(金)、投票日: 4月7日(日)

○選挙結果(投票率 52.70%)

選挙区	当選者氏名	得票	備考
鳥取市(定数12)	坂野経三郎(推薦)国民公認	4,678	当選・9位 ③
	尾崎かおる(推薦)無所属・立憲推薦	5,364	当選・6位 ③
倉吉市(定数3)	興治 英夫(推薦)立憲公認	6,546	当選・1位 ⑤
米子市(定数9)	浜田 妙子(推薦)立憲公認	4,200	当選・9位 ⑤
	森 雅幹(推薦)自治労・立憲公認	4,636	当選・7位 ③
	西村みつこ(推薦)無所属・国民推薦	4,242	当選・8位 ①
東伯郡(定数3)	伊藤 保(推薦)自治労・国民公認	7,327	当選・2位 ⑥
西伯郡(定数2)	福間 裕隆(推薦)JR連合・国民公認	8,282	当選・1位 ⑦

<鳥取市選挙区>



坂野経三郎さん



尾崎かおるさん

<倉吉市選挙区>



興治英夫さん

<東伯郡選挙区>



伊藤 保さん

<米子市選挙区>



浜田妙子さん



森 雅幹さん



西村みつこさん

<西伯郡選挙区>



福間裕隆さん

これからが
正念場!

2019春季生活闘争

すべての労働者の処遇改善を
実現するため粘り強く闘おう!

連合鳥取は4月22日(月)、2019春季生活闘争の中間まとめを発表しました。

連合鳥取2019春季生活闘争 要求・回答・妥結状況 [2019.4.22集計]

※昨年同時期(2018.4.20)と比較

1. 賃金要求提出状況

登録組合数	2019春闘：88組合		2018春闘：80組合				
◆提出した	2019春闘 (2019.4.22)			2018春闘 (2018.4.20)			
	【賃金関係】 調査対象：114組合			【賃金関係】 調査対象：113組合			
◆提出せず	平均方式	個別方式	合計	平均方式	個別方式	合計	
	組合数	68	9	77	66	9	75
◆未提出	組合数	10,639	1,545	12,184	10,102	1,796	11,898
	組合員	207	170		207	170	
◆回答・妥結	組合数	3	2		3	2	
	組合員	909	410		909	410	
◆人勤準拠	組合数	1	0		1	0	
	組合員	142	0		142	0	
◆回答・妥結	組合数	52	56		52	56	
	組合員	9,034	7,940		9,034	7,940	

2. 要求状況 ※平均賃上げ方式 (体系維持相当+賃金改善) ※加重平均

平均賃上げ方式	2019春闘 (2019.4.22)						2018春闘 (2018.4.20)						昨年対比		
	組合数	組合員数	体系維持分		賃金改善分		組合数	組合員数	体系維持分		賃金改善分		額	率	
			額	率	額	率			額	率					
加重平均	計	57	7,961	3,911	4,344	8,181	3.56	52	7,517	3,781	4,467	8,010	3.43	171	0.13
	300人以上	16	5,072	4,279	4,270	8,853	3.86	18	4,433	4,029	4,914	9,145	4.10	▲292	▲0.24
	299~100人	19	2,261	3,095	4,828	6,767	2.96	21	2,726	3,281	3,881	6,286	2.63	481	0.33
	99人以下	22	628	5,334	2,776	8,200	3.22	13	358	6,500	2,938	7,765	2.91	435	0.31

3. 回答妥結状況 ※平均賃上げ方式 (体系維持相当+賃金改善) ※加重平均

平均賃上げ方式	2019春闘 (2019.4.22)				2018春闘 (2018.4.20)				昨年対比		
	組合数	組合員数	合計		組合数	組合員数	合計		額	率	
			額	率			額	率			
加重平均	計	33	5,042	4,774	2.13	36	5,418	4,312	1.79	462	0.34
	300人以上	11	3,477	5,476	2.34	14	3,191	4,869	1.85	607	0.49
	299~100人	11	1,345	3,111	1.49	14	2,013	3,393	1.69	▲282	▲0.20
	99人以下	11	220	3,841	1.96	8	214	5,822	2.13	▲1,981	▲0.17

※中間まとめより抜粋※

<最大の成果> 6年連続して「賃上げ」の流れが継続された。

<賃金> 上記一覧表を参照

<非正規労働者の処遇改善>

- ①目標/1時間あたり38円の引き上げ
- ②妥結状況/(11組合)
 - ・時給で26円~46円の賃上げ
 - ・その他増額、一時金の増額、特別休暇の新設等

<働き方改革(長時間労働の是正)>

- ①総労働時間の短縮を要求
 - ・時間外労働の削減(22組合)
 - ・年休取得促進(38組合)
 - ・年休付与日数増(9組合)
 - ・所定労働時間短縮(8組合)
 - ・時間外割増率引き上げ(8組合)
- ②勤務間インターバル制度導入・10時間、半休取得回数撤廃(公共インフラ)

<まとめ>

- 4月18日の「春闘闘争委員会」において、「底上げ・底支え」「格差是正」をめざして、月例賃金の引き上げと人への投資を徹底して追求していく。



県庁記者クラブにて

官民一体で春闘勝利!

本年も、公務員関係労働組合(自治労・日教組・国公総連・全水道)より民間中小地場労組の春闘勝利に向けたカンパ金(309,000円)が寄付されました。



ありがとうございました

一日も早い全員帰国を求めて! -「拉致問題に関する学習会」を開催-

4月18日(木)、「第5回執行委員会」終了後、執行委員会役員を対象に「拉致問題に関する学習会」を開催しました。

この「学習会」は、連合方針「人権・連帯活動の強化」に則り、拉致被害者の早期解放に向けた世論喚起や、拉致問題を風化させないために実施しました。

◆DVD「拉致私たちは何故、気付かなかったのか!」視聴

◆対 談「拉致被害者の人権、家族の思い」

鳥取県総務部人権局人権・同和対策課係長の中尾和子さんのインタビューで、米子市出身の拉致被害者の松本京子さん(UAゼンセン組合員)の兄の松本孟(はじめ)さんより、経過と現状を聞きました。

中尾係長と松本孟さん(右)



【松本孟さんの訴え】

拉致被害者もその家族も高齢になってきている。

一日も早い拉致被害者全員の帰国の実現を政府に訴えている。ぜひともみなさんのご協力をお願いしたい。

(スローガン) 格差をなくし、平和を守る! 笑顔あふれる未来を作ろう 第90回鳥取県メーデー大会 盛大に開催!!
すべての仲間の連帯で!

4月27日(土)、県内3会場に約4,000人が結集し、「第90回鳥取県メーデー大会」を盛大に開催しました。当日はとても寒く、特に東部地域大会と中央大会の会場では冷たい雨も降りましたが、組合員やご家族などがそれぞれの会場での式典、工夫したイベント、デモ行進に元気いっぱい参加されました。



参加人数	○中央大会 約1,300人	○東部地域大会 約1,200人	○西部地域大会 約1,500人
------	------------------	--------------------	--------------------

※「メーデー大会フォトニュース」もご覧ください※

「貧困・格差のない持続可能な社会」をめざして
「第8回鳥取県 労働・福祉事業四団体合同研修会」で真摯に考える

(主催/連合鳥取・鳥取県労働者福祉協議会・中国労働金庫鳥取県営業本部・全労済鳥取推進本部)

4月19日(金)、「第8回鳥取県 労働・福祉事業四団体合同研修会」を全労済鳥取推進本部会議室(鳥取市)において開催し、総勢92人が参加しました。

講演では、2015年9月の国連総会で採択された「SDGs(持続可能な開発目標)」について、これまでの背景や、SDGsの精神・コンセプトなどわかりやすく説明いただきました。「平成」から「令和」となる今、①「どんな社会・地域を創っていくのか、②そのためにどう取り組んでいくのか、③「やりやすい所、やりたいこと」より「やりにくい所、やりたくないこと」に取り組んでいかなければ何も変わらないなどと訴えられ、考えさせられた研修会でした。



講演の様子



「17の目標」のうち自分にとって「何が一番大事か」の質問に真剣に考える参加者

【講演】

「持続可能な開発目標(SDGs)実現に向けて」

講師/SDGs市民社会ネットワーク

事務局長 新田英理子さん(写真上段)

—講演内容より(抜粋)—

- 日本においては、政府の取り組みが進んでいく中で、肝心の「貧困・格差の少ない社会」「持続可能な社会」実現に向けた政策は見当たらず、「誰ひとり取り残さない」というSDGsの精神は置き去りになっている。
- 私たち労働団体(労働組合)の本来の役割はSDGsと直結していて、働きがいのある、人間らしい仕事(ディーセントワーク)の実現が急務である。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
世界を変えるための17の目標

- 1 貧困をなくそう
- 2 飢餓をゼロに
- 3 すべての人に健康と福祉を
- 4 質の高い教育をみんなに
- 5 ジェンダー平等を実現しよう
- 6 安全な水とトイレを世界中に
- 7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに
- 8 働きがいも経済成長も
- 9 産業と技術革新の基盤をつくろう
- 10 人や国の不平等をなくそう
- 11 住み続けられるまちづくりを
- 12 つくる責任 つかう責任
- 13 気候変動に具体的な対策を
- 14 海の豊かさを守ろう
- 15 陸の豊かさを守ろう
- 16 平和と構成をすべての人に
- 17 パートナリシップで目標を達成しよう

産別リレー

全国農団労は「あたり前の労働運動」をスローガンとして活動を展開しています(農協が地域から愛され、かつ働きやすい組織となることを目的として以下の運動を中心に活動しています)

労働条件の改善・・・労働者が安心し、誇りを持って働ける職場を目指しています

農協革新運動・・・地域協同組合としての役割と責任を果たす農協組織を目指しています

農業再建運動・・・家族農業を軸に、安全・安心を基本とした農業を目指しています

その他の運動・・・地域・社会や農業を守るため、脱原発や核廃絶に取り組んでいます

全国農団労
におじゃまして

全国農団労は、全国16道県の農協組織の労働組合が結集している組織で、組合員数は約13,000人です。



JA鳥取労連は、鳥取県内全ての農協組織(3農協と4連合会)の労働組合が結集した組織で、組合員数は約800人です。



県内には各地区に農協が運営している直売店舗があり、地域で収穫された新鮮な農産物を手ごろな価格で販売しています!(地方発送も行っています!)お気軽にお越しくださいね!



JA鳥取労働組合連合

今回は・・・電力総連をご紹介します



湯原 俊二

— 緑肥の想い —

また4月からは、働き方関連法や外国人労働者受け入れの法律が施行になりました。しわ寄せは県民の暮らしや鳥取県行政にきます。当選した議員に声をもっとあげていきましょう。

一方で夏には参議院選挙があります。有権者が政治を決める大きな機会が選挙です。国民の暮らしは厳しくなるばかりのアベノミクス、言葉だけの地方創生、国会審議の形骸化、うその答弁や公文書の改ざん・隠ぺいなど民主主義が危うくなっています。安倍政権を止めるために、各産別の仲間の候補者や野党の候補者への結集をお願いいたします。結集することで政治は変えられます。

鳥取県知事選挙、鳥取県議会議員選挙が終わりました。おかげさまで、連合鳥取推薦の候補者はすべて当選しました。連合鳥取所属の組合員のみなさんのご支援に心から感謝を申し上げます。引き続き忌憚のない叱咤激励をよろしくお願い申し上げます。

政治信条 緑肥の想い

レンゲ・クローバー・麦など収穫せずにそのまま畑にすきこみ、後から栽培する作物の肥料にすることを緑肥(りよくひ)と言います。

政治は、私利私欲のためではなく公の利益のため、また現在のためだけではなく、次世代につながるものにしなければなりません。例えば環境問題、教育問題、原発などエネルギー問題、国の借金の問題など、今の政治判断により次世代は大きく左右されます。

しかし次世代の子ども達は、今選挙権がなく政治を選択することができません。次世代がどうなるかを考えながら政治に携わりたいと思います。

私は、そういう意味で「緑肥の想い」の政治を自らの政治信条としています。



統一地方選挙(県議会議員選挙)では連合鳥取推薦候補者の応援にかけつけました

“ザ・議員”

勝田 鮮二

鳥取市議会議員

昨年11月の市議会議員選挙後、6人で新会派“未来ネット”を立ち上げ第二会派となりました。市議会の中での発言力を高め、連合のみなさまをはじめ、多くの市民の方々の意見や要望を聞き、市政に反映・提言していくよう一生懸命頑張っています。

<2月・3月定例会での一般質問>

- ①地域づくり懇談会について
- ②防災行政無線について
- ③高速道路“南北線”について

(山陰道、鳥取道、近畿道の結節点ルート3案の選定について)

※次の点について市長の見解を求めました

- ・市民、県民が長年待った重要なルート選定である。2回目のアンケート調査で、旧鳥取市、旧福部村、東部事業所、関係機関へ全戸郵送配布するとあるが、合併して15年を迎えた今日、旧とくではなく鳥取市全域に配布をし、分母を多くして、多様な意見を求め事業に反映させるべきだ!
- ・ルート3案が提示されているが、防災、渋滞、物流、観光面を考えれば、全線バイパス案が良いと考えるがどうか?



2019.2.3月定例会

福井 康夫

倉吉市議会議員

第19回統一地方選挙が終了しました。懸案の通り、全国で投票率が低下しました。

私は、12月定例会において、18歳選挙権に係る高校生の政治活動の届け出による保障を求めました。PTA連合会での話題・主権者教育の取組などを通じて関心を持っていただくことが何より大切だと現場の声を反映いたしました。

さらに、3月定例会では、生産森林組合の育成と減免について取り上げました。平成31年度から森林環境税が創設されます。個人住民税の均等割りとして、国民一人年額1,000円が徴収されます。課税は東日本の震災対策後の、平成36年からとなっています。そして市町村へは、今年から森林環境譲与税として交付されます。森林の人材育成・担い手の確保、木材利用の促進につなげる施策として活用されるよう求めました。

連合のみなさまの、引き続きのご支援をお願いいたします!



チャリティーに協力

トピック

第19回統一地方選挙において連合鳥取推薦候補は、平井知事と8人の県議会議員が全員当選を果たしました。

ご本人の日々の取り組みは勿論のこと、構成組織・組合員のみなさんのご奮闘に感謝申し上げます。

当選されたみなさんには、当選が新たなスタートであり、生活者労働者・納税者のための政策を前へ前へ進めていただきたいと考えます。

最近、連合鳥取の新たな取り組みとして、「拉致問題」と「SDGs(持続的な開発目標)」の研修会に参加した。この2つの研修会で改めて確認したことは、「愛の反対は憎しみでなく無関心である。マザー・テレサの言葉」「誰ひとり取り残さない。SDGsの精神」である▼私たち労働組合も、人間の尊厳にこそ基本的な価値があることを再認識し、すべての働く仲間が、将来に希望を持って働き続けることを軸に置き、働く仲間一人ひとりの尊厳とくらしを「まもり」、働く仲間・地域社会を「つなぎ」、社会・経済の新たな活力を「創り出し」ていく「働くことを軸とする安心社会」の実現に向け、果敢に挑戦していく。

(事務局長)

